

# 第31回 宝塚混声合唱団音楽会

ヘンデル

オラトリオ

「メサイア」

2019年7月27日[土]

開場 12:45 開演 13:30

東リ いたみホール

後援: 宝塚市・伊丹市・宝塚市文化財団・宝塚合唱連盟・兵庫県合唱連盟

## ごあいさつ

本日は、私たち宝塚混声合唱団の第31回音楽会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

今から39年前の1980年、【昭和】に誕生した宝塚混声合唱団は市民音楽祭に参加するとともに、1982年から84年には宝塚ベガ・メサイア(第3・4・5回)に参加していました。

1989年から始まる【平成】の時代には、大森地塩先生を指導者に迎え、震災も乗り越え、ドイツへの演奏旅行をするなど、一年一年精力的に様々な曲に挑戦してきました。2013年からは畑儀文先生にご指導いただくようになり、ハイドン作曲「四季」、ベートーヴェン作曲「荘厳ミサ」、ヴェルディ、ブラームス、ドヴォルザーク作曲「レクイエム」といったオーケストラ付きの大曲に取り組んできました。

そして、新しく【令和】の年を迎えた本音楽会では、バロックの名曲ヘンデル作曲「メサイア」を演奏させていただきます。昨年8月の音楽会以降、畑先生の熱いご指導のもと、ピアニストの先生方のご協力も得ながら練習を積み重ねてきました。

「これまで聴いたことのあるメサイアとは違う!」と感じていただけたら嬉しいです。

【令和】が平和で笑顔が溢れる素敵な時代になることを願って、高らかに歌い上げたいと思います。

最後になりましたが、本日の音楽会の開催にあたり、ご協力をいただいた関係者の皆様に、心から御礼申し上げますとともに、今後とも宝塚混声合唱団の活動にご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本プログラムに掲載の日本語訳につき、日本基督教団神戸栄光教会の柴田美代子氏に特別のご協力をいただきました。記して感謝申し上げます。

2019年7月 宝塚混声合唱団



# Program

## ヘンデル オラトリオ「メサイア」

指揮者 畑 儀文 によるプレトーク

### 第 1 部 預言と降誕

————— 休憩 —————

### 第 2 部 受難と死と復活

### 第 3 部 復活と永遠の生命

指揮 畑 儀文

ソプラノ 老田 裕子

アルト 福嶋 あかね

テノール 松原 友

バス 篠部 信宏

オーケストラ アンサンブル・ムジカ・アニマ

字幕 藤野 明子

字幕システム 合同会社ミチヤシステムズ

# ヘンデル 「メサイア」 解説

## 1. ヘンデルの生涯

ヘンデルはヨーロッパの市民社会が成立して行く17世紀末から18世紀前半の時期にバッハとともにバロック音楽の<sup>ちょうび</sup>掉尾を飾り、クラシック音楽の<sup>いしずえ</sup>礎を築いた偉大な作曲家です。同じ年に近い地域に生を享けながら終生ドイツを離れなかったバッハとは対照的に、ヘンデルの人生は波乱に富み国際的でした。1685年、ザクセンのハレで、宮廷外科医で63歳の父と33歳の若い母との間に生まれたヘンデルは幼少時からオルガン演奏に際立った天性を示しました。父の遺志に従って1702年にハレ大学の法学部に入学しますが1年で退学し、作曲家を目指してハンブルクに出て、テレマン、マッテゾンら新進音楽家の知遇を得ました。1704年、マッテゾンと仲違いして決闘となり間一髪で命を取りとめたあと、1706年から10年までイタリアに赴いて各地を巡りながら、コレリ、スカルラッティ父子らと交流し、イタリア音楽の本流に触れてオペラ作曲の腕を磨きました。1710年、ハノーヴァーの宮廷楽長に任命されますが、そのままロンドンに赴き、オペラ「リナルド」を初演して成功します。翌12年以降はイギリスに定住し、夭逝した巨匠H.パーセルの音楽的気品を手本にして「テ・デウム」を作曲しアン女王に献上したり、後継のジョージ1世（ハノーヴァー候）に管弦楽組曲「水上の音楽」を献上したりして王室の公認作曲家となり、27年にはイギリスに帰化しました。王室の保護を受ける一方で、ヘンデルはオペラ作曲家、

指揮者として市民から支持を受けて劇場経営にも腕を振りますが、1734年には対抗する貴族劇場がナポリから招いたカストラート歌手ファリネッリの声望に客を奪われ、37年には中風症に倒れて療養を余儀なくされます。ウォルポール（宰相）の長期政権化に伴うオペラ上演への規制も加わる逆境のなか、ヘンデルは“歌う芝居”としてのオラトリオに新天地を見出しました。38年に2作のオラトリオ「サウル」、「エジプトのイスラエル人」を作曲して上演の手がかりをつかんだ後、1741年（56歳）には不朽の傑作「メサイア」を作曲して翌42年にダブリンで初演し、大きな成功を収めます。「ディダミア」を最後に、40曲を超すオペラ制作の筆を折ったヘンデルはオラトリオの制作に専念し、47年にはジャコバイト（旧王朝派）の反乱の制圧を祝意した「マカベウスのユダ」を制作して好評を博し、49年にはオーストリア継承戦争の終結を祝って作った管弦楽組曲「王宮の花火の音楽」を上演するなど“機会音楽”の作曲を通じてイギリスの国民音楽家として不動の地位を確立しました。ヘンデルは幸福な老境に入り、毎年「メサイア」の上演を通じて孤児養育院への慈善活動に尽くすなど尊敬される日々を送りましたが、1750年（バッハが死去した年）、故郷のハレに旅行した際、馬車の事故で重傷を負ったのがきっかけで次第に視力を失い53年には失明。1759年、老衰のため74歳の長い人生を閉じました。艶福に恵まれながら生涯独身を貫き、遺骸はウェストミンスター寺院に埋葬されました。

## 2. オラトリオ「メサイア」の成り立ち

オラトリオは＜オラトリウム（祈祷所）＞が語源で、聖書に題材をとった劇的で大規模な合唱曲をさす場合が多く、数多いオラトリオ曲のなかでヘンデルの「メサイア」は最高の傑作として屹立した位置を占めています。

「メサイア」はヘブライ語＜メシア（救世主）＞の英語訳で、台本を作成したのはC.ジェネズというジャコバイト（旧王朝派）の詩人です。欽定訳聖書から旧約・新約の聖句を精選してキリストの生涯を描いた英文テキストを読んで天啓のように曲想を得たヘンデルは早速作曲に取り掛かり、1741年の夏ロンドンの自宅に籠ってわずか3週間で全曲を書き上げ、翌42年の春にアイルランドのダブリンで初演されて大成功を収めました。43年にロンドンのコベントガーデン劇場で演奏されたときは、宗教的な音楽が一般劇場で上演されることに教会側の非難もありましたが、この曲が持つ壮大、明朗で崇高な魅力がイギリス市民の心を捉えて逐年評価が高まり、「奇蹟」のように海を越えて世界各地で頻繁に演奏されるようになりました。

ヘンデルの生前は比較的小規模であった「メサイア」の演奏規模は年々膨らんで1857年の第1回ロンドン万国博記念公演では、約500人の管弦楽と約4000人の合唱で演奏されたと言われます。「メサイア」の総譜には多くの版がありますが、本日はJ.トービン校訂のベーレンライター版により、ヘンデルの原作に近い規模で演奏します。全編は3部に分れ、オーケストラ約30人、独唱4人、混声合唱4部約100人、曲数は全47曲（うち21曲が合唱）で構成されています。

## 3. 「メサイア」の概要

### 第1部 預言と降誕 第1～第18曲

第1部はキリスト出現の予告と降誕の喜びを讃える明るく穏やかな雰囲気にも包まれており、序曲（オーケストラ）に始まる前半と牧歌（オーケストラ）に続く後半に分かれています。

典雅な序曲（1：以下曲番号を数字で示す）に続き、“慰めよ”で始まるテナーソロ（2、3）を受けて、合唱が“主の栄光”を讃え（4）、バスソロが“万軍の主は”と主の預言を語り（5）。アルトソロ（6）と合唱（7）に続いて、アルトソロが“おとめの身ごもり”を報らせ、合唱が“よい知らせをシオンに”と唱和します（8）。バスが“闇を照らす光”について語り（9、10）、“みどりごの誕生”を祝う歓喜の合唱（11）で前半が終わります。

後半はのどかな牧歌（12）で始まり、ソプラノソロがキリストの降誕を告げ（13、14）、合唱が“栄光、神にあれ”と歌うと（15）、ソプラノソロが“娘シオンよ、大いに踊れ”と明るく歌い（16）、短いアルトソロを挟んで、ソプラノとアルトが“主は羊飼いのように”と艶やかに歌い上げます（17）。これを受けて合唱が“主のくびきは負いやすく”（18）と歌って第1部が閉じられます。

### 第2部 受難と死と復活 第19～第39曲

第2部はキリストの受難と死と復活が歌われる劇的で緊迫した感動が漲っており、21曲のうち合唱が11曲と大きなウエイトを占めて

います。合唱が“みよ、神の小羊”とイエスの受難の苦しみを歌いだし(19)、アルトソロが“彼は軽蔑され”と嘆くと(20)、合唱が“彼が担ったのはわたしたちの病”(21)と応え、“彼の受けた傷によって、私たちはいやされた”(22)と古風なフーガで唱い、続けて“わたしたちは羊の群れ”(23)とリズムカルに歌います。短いテナーソロ(24)と合唱(25)のあと、テナーソロがイエスの受苦、死、埋葬(26、27、28、29)を沈痛に語り、転じて合唱が“城門よ、頭を上げよ”(30)とメシアの復活を宣告します。短いテナーソロと合唱(31)、アルトソロ(32)、合唱(33)が交唱風に展開され、ソプラノソロが“いかに美しいことか”(34)と喜びの Aria を詠い、合唱が“声は全地に響き渡り”(35)と唱います。さらにバスソロ“なにゆえ、国々は騒ぎたち”(36)、合唱“我らは、かせをはずし”(37)、テナーソロ“主よ、あなたは鉄の杖で彼らを打ち”(38)が世の終末の騒乱を起伏激しく歌い継いだあと、全曲中の圧巻である大合唱<ハレルヤコーラス>(39)が“全能の神”を褒め讃えて、第2部が終わります。

### 第3部 復活と永遠の生命 第40～第47曲

第3部はキリストの復活、再臨と永遠の生命を祈る落ち着いた気分になっています。ソプラノソロが“わたしは知っている”と死者の蘇りを告げ(40)、合唱がキリストによる死者の復活を讃える(41)と、バスソロが“わたしはあなたがたに神秘を告げる”と語りかけ、オーケストラの前奏と間奏に囲まれ、最後の審判と死者の蘇る瞬間をトランペットの響きに伴われて厳かに反復して歌います

(42、43)。アルトの短いソロ“死は勝利にのみこまれた”を挟んで、アルトとテナーが二重唱で“死よお前のとげはどこにあるのか”(44)と歌い、休みなく合唱が“神に感謝しよう”(45)と続け、ソプラノソロが再度神の栄光を讃えると(46)、いよいよ終結の大合唱“屠<sup>ほよ</sup>られた小羊なる方”がイエスによる救いの完成を讃え、“アーメン”をフーガで復唱(47)して全曲が締めくくられます。

畑 儀文先生を指揮者にお迎えして6年目。念願が叶って“運動と変化を追求する”バロック音楽の記念碑ともいわれるヘンデルの「メサイア」に挑戦する機会に恵まれました。大作ゆえに一部省略して演奏されることが多いこのオラトリオ。本日はオーケストラ、ソリストの皆様とともに全47曲を通して力一杯歌い、新時代「令和」の旅立ちの一里塚にしたいと願っております。

(参考文献)

「ヘンデル」ロマン・ロラン

高田 博厚、蛭原 徳夫 訳 みすず書房

「ヘンデル」クリストファー・ホグウッド

三浦 寿喜 訳 東京書籍

「ヘンデルが駆け抜けた時代」三ヶ尻 正 春秋社 ほか

(テナー 福田 伸)

## 第1部 預言と降誕

### 1. シンフォニア[序曲]

### 2. レンタティーブ テノール イザヤ 40:1-3

#### *Comfort ye my people*

「慰めよ、わたしの民を慰めよ」と

あなたたちの神は言われる。

エルサレムの心に語りかけ

彼らに呼びかけよ

苦役の時は今や満ち、

その咎は償われた、と。

呼びかける声がある。

「主のために、荒野に道を構え

わたしたちの神のために、

荒地に広い道を通せ」

【旧約聖書:イザヤ書】

### 3. アリア テノール イザヤ 40:4 ルカ 3:4

#### *Ev'ry valley shall be exalted*

「谷はすべて身を起こし、

山と丘は身を低くせよ。

曲がった道は真直ぐに、険しい道は平ら

になれ」

【新約聖書:ルカによる福音書】

### 4. 合唱 イザヤ 40:5

#### *And the glory of the Lord*

主の栄光がこうして現れるのを

肉なるものは共に見る。

主の口がこう宣言される。

### 5. レンタティーブ バス ハガイ 2:6,7 マラキ 3:1

#### *Thus saith the Lord*

まことに、万軍の主はこう言われる。

わたしは、間もなくもう一度 天と地を、

海と陸地を揺り動かす。

諸国の民をことごとく揺り動かし

諸国のすべての民の財宝をもたらす。

あなたたちが待望している主は

突如その聖所に来られる。

あなたたちが喜びとしている契約の使者

見よ、彼がくる、と万軍の主は言われる。

【旧約聖書:ハガイ書、マラキ書】

### 6. アリア アルト マラキ 3:2

#### *But who may abide the day of His coming*

しかし、彼の来る日に誰が身を支え得よう。

彼の現れるとき、誰が耐え得よう。

彼は精錬する者の火のようだ。

### 7. 合唱 マラキ 3:3

#### *And He shall purify*

彼はレビの子らを清める

彼らが主に献げ物を

正しくささげる者となるためである。

#### レンタティーブ アルト

イザヤ 7:14 マタイ 1:23

#### *Behold, a virgin shall conceive*

見よ、おとめが身ごもって、男の子を生み、  
その名をインマヌエルと呼ぶ。

「神は我々と共に居られる」という意味で  
ある。

【新約聖書:マタイによる福音書】

### 8. アリアと合唱 イザヤ 40:9,60:1

#### *O thou that tellest good tidings to Zion*

良い知らせをシオンに伝えるものよ

高い山に登れ。

良い知らせをエルサレムに伝えるものよ

力を振るって声をあげよ。

声をあげて恐れるな

ユダの町々に告げよ、見よ、

あなたたちの神を。

起きよ、光を放て、

あなたを照らす光は昇り

主の栄光はあなたの上に輝く。

おお、良い知らせをシオンに、

良い知らせをエルサレムに

伝えるものよ。

起きよ、ユダの町々に告げよ。  
見よ、あなたたちの神を。  
見よ、主の栄光はあなたの上に輝く。

9. レシタティーブ バス イザヤ 60:2,3

*For behold, darkness shall cover the earth*

みよ、闇は地を覆い暗黒が国々を包んでいる。  
しかし、あなたの上には主が輝き出で  
主の栄光があなたの上に現れる。  
国々はあなたを照らす光に向かい  
王たちは さしいでその輝きに向かって歩む。

10. アリア バス イザヤ 9:1

*The people that walked in darkness*

闇の中を歩む民は、大いなる光を見  
死の陰の地に住む者の上に、  
光が輝いた。

11. 合唱 イザヤ 9:5

*For unto us a Child is born*

ひとりのみどりごが  
わたしたちのために生まれた。  
ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。  
権威が彼の肩にある。  
その名は、「驚くべき指導者、力ある神、  
永遠の父、平和の君」と唱えられる。

12. 牧歌(田園曲)レシタティーブ ソプラノ  
ルカ 2:8

*There were shepherds abiding in the field*

その地方で羊飼いたちが野宿しながら、  
夜通し羊の群れの番をしていた。

13. レシタティーブ ソプラノ ルカ 2:9

*And lo, the angel of the Lord came upon them*

すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを  
照らしたので、彼らは非常に恐れた。

レシタティーブ ソプラノ ルカ 2:10,11  
*And the angel said unto them*

天使は言った。「恐れるな、わたしは、  
民全体に与えられる大きな喜びを告げる。  
今日ダビデの町で、あなたがたのために  
救い主がお生まれになった。  
この方こそ主なるキリスト、メシアである」

14. レシタティーブ ソプラノ ルカ 2:13

*And suddenly there was with the angel*

すると、突然、この天使に  
天の大軍が加わり  
神を賛美して言った。

15. 合唱 ルカ 2:14

*Glory to God*

「いと高きところには栄光、神にあれ、  
地には平和、み心に適う人にあれ。」

16. アリア ソプラノ ゼカリヤ 9:9,10

*Rejoice greatly, O daughter of Zion*

娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、  
歓呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。  
彼は神に従い、義なる救い主であって、  
諸国の民に平和を告げる。

【旧約聖書:ゼカリヤ書】

レシタティーブ アルト イザヤ 35:5,6

*Then shall the eyes of the blind*

そのとき、見えない人の目が開き  
聞こえない人の耳が開く。  
そのとき、歩けなかった人が鹿のように  
踊り上がり、口の利けなかった人が喜び歌う。

17. アリア アルト、ソプラノ イザヤ 40:11

*He shall feed His Flock*

主は、羊飼いのように群れを養い、  
み腕をもって集め、  
幼い者らをふところに抱き、  
その母を導いて行かれる。

マタイ 11:28,29

疲れた者、重荷を負う者は、  
だれでも主のもとに来なさい。休ませてくださる。  
主は柔和で謙遜な方だから、

彼のくびきを負い、彼に学びなさい、  
そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。

18. 合唱 マタイ 11:30  
*His yoke is easy, and His burthen is light*

主のくびきは負いやすく、  
その荷は軽いからです。

## 第2部 受難と死と復活

19. 合唱 ヨハネ 1:29  
*Behold the Lamb of God*

みよ、神の小羊、  
世の罪を取り除く神の小羊を。

【新約聖書:ヨハネによる福音書】

20. アリア アルト イザヤ 53:3,50:6  
*He was despised*

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ  
多くの痛みを負い、病を知っている。  
打とうとする者には背中をまかせ  
ひげを抜こうとする者には頬を任せた。  
顔を隠さずに、嘲り<sup>あざけ</sup>と唾を受けた。

21. 合唱 イザヤ 53:4,5  
*Surely He hath borne our griefs*

彼が担ったのはわたしたちの病  
彼が負ったのはわたしたちの痛みであった。  
彼が刺し貫かれたのは  
私たちの背きのためであり  
彼が打ち砕かれたのは  
私たちの咎<sup>とが</sup>のためであった。  
彼の受けた懲らしめによって  
私たちに平和が与えられ

22. 合唱 イザヤ 53:5  
*And with His stripes we are healed*  
彼の受けた傷によって、私たちはいやされた。

23. 合唱 イザヤ 53:6  
*All we like sheep have gone astray*

わたしたちは羊の群れ  
道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。  
そのわたしたちの罪をすべて  
主は彼に負わせられた。

24. レシタティーブ テノール 詩篇 22:8  
*All they that see Him laugh Him to scorn*

彼を見る人は皆、彼をあざ笑い  
唇を突き出し、頭を振って言う、

【旧約聖書:詩篇】

25. 合唱 詩篇 22:9  
*He trusted in God*

「主に頼んで救ってもらおうがよい。  
主が愛しておられるなら  
助けてくださるだろう、」と。

26. レシタティーブ テノール 詩篇 69:21  
*Thy rebuke hath broken His heart*

嘲り<sup>あざけ</sup>に彼の心は打ち砕かれ  
憂いに満たされた。  
誰一人同情する者はなく  
慰める者も見いだせなかった。

27. アリア テノール 哀歌 1:12  
*Behold, and see if there be any sorrow*

人よ、心して目を留めよ、  
よく見よ。これほどの痛みがあったらうか。

【旧約聖書:哀歌】

28. レシタティーブ テノール イザヤ 53:8  
*He was cut off out of the land of the living*

民の背きのゆえに、  
彼は神の手にかかり  
命ある者の地から断たれた。

29. アリア テノール 詩篇 16:10  
*But Thou didst not leave His soul in hell*  
神よ、あなたは彼の魂を陰府<sup>よみ</sup>に渡すことなく

あなたの悲しみに生きるものに  
墓穴を見させられなかった。

30. 合唱 詩篇 24:7-10

*Lift up your heads, O ye gates*

城門よ、頭をあげよ、  
とこしえの門よあがれ  
栄光に輝く王が来られる。  
栄光に輝く王とは誰か。  
強く雄々しい主、  
雄々しく戦われる主。  
全てのものの主、主こそ栄光に輝く王。

レシタティーブ テノール ヘブ 1:5

*Unto which of the angels said He at  
any time*

いったい神は、かつての天使のだれに  
「あなたはわたしの子、わたしは今日、  
あなたを産んだ」といわれたのでしょうか。  
【新約聖書：ヘブライ人への手紙】

31. 合唱 ヘブ 1:5-6

*Let all the angels of God worship Him*

「神の天使たちは皆、彼を礼拝せよ」

32. アリア アルト 詩篇 68:19

*Thou art gone up on high*

あなたは高い天に上がり、人々をとりこし、  
人々を貢ぎものとして取り、背く者も取られる。  
主なる神がそこに住まわれるためである。

33. 合唱 詩篇 68:12

*The Lord gave the word*

主は約束をお与えになり、  
良い知らせを告げる者は大きな群れとなった。

34a. アリア ソプラノ

イザヤ 52:7 ロマ 10:15

*How beautiful are the feet*

いかに美しいことか  
平和の福音を告げ、  
恵の良い知らせを伝える者たちの足は。  
【新約聖書：ローマの信徒への手紙】

35a. 合唱 ロマ 10:18

*Their sound is gone out*

声は全地に響き渡り、  
その言葉は世界の果てにまで及ぶ。

36. アリア バス 詩篇 2:1,2

*Why do the nations so furiously rage  
together*

なにゆえ、国々は騒ぎ立ち、  
人々はむなしく声をあげるのか。  
なにゆえ、地上の王は立ち構え、  
支配者は結束して主に逆らい、  
主の油注がれた方に逆らうのか

37. 合唱 詩篇 2:3

*Let us break their bonds asunder*

「我らは、かせをはずし、  
縄を切って投げ捨てよう」と。

レシタティーブ テノール 詩篇 2:4

*He that dwelleth in heaven*

天を王座とする方は 笑い  
主は 彼らを<sup>あざけ</sup>嘲られる。

38. アリア テノール 詩篇 2:9

*Thou shalt break them*

主よ、あなたは鉄の杖で彼らを打ち  
陶工が器を砕くように 砕かれる。

39. 合唱 黙示録 19:6,11:15,19:16

*Hallelujah*

ハレルヤ、全能者であり、  
わたしたちの神である主が、王とられた。  
この世の国は、我らの主と、そのメシアのもの  
となった。主は世々限りなく統治される。  
王の王、王の王。 ハレルヤ

【新約聖書：ヨハネの黙示録】

### 第3部 復活と永遠の生命

#### 40. アリア ソプラノ

ヨブ 19:25,26 1コリ 15:20

##### *I know that my Redeemer liveth*

わたしは知っている  
私を贖<sup>あがな</sup>う方は生きておられ  
ついには地の上に立たれることを。  
この肉の体が滅びようとも この身をもって、  
わたしは神を仰ぎ見るでしょう。  
事実、キリストは死者の中から復活し、  
眠りについた人たちの初穂となられたからです。  
【旧約聖書:ヨブ記】  
【新約聖書:コリントの信徒への手紙一】

#### 41. 合唱 1コリ 15:21,22

##### *Since by man came death*

死が一人の人によって来たのだから、  
死者の復活も一人の人によって来る。つまり、  
アダムによって全ての人が  
死ぬことになった様に  
キリストによってすべての人が  
生かされることになるのです。

#### 42. レシタティーブ バス 1コリ 15:51,52

##### *Behold, I tell you a mystery*

わたしはあなたがたに神秘を告げる。  
わたしたちは皆、眠りにつくわけではありません。  
わたしたちは皆、変えられる。最初のラッパが  
鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちに。

#### 43. アリア バス 1コリ 15:52,53

##### *The trumpet shall sound*

ラッパが鳴ると、  
死者は復活して朽ちない者とされ、  
わたしたちは変えられる。  
この朽ちるべきものが朽ちないものを着、  
この死ぬべきものが死なないものを必ず着る  
ことになる。

#### レシタティーブ アルト 1コリ 15:54

##### *Then shall be brought to pass*

その時、次のように書かれている言葉が実現す

るのです。

「死は勝利にのみ込まれた。」

#### 44. 二重唱 アルト、テノール

1コリ 15:55,56

##### *O death, where is thy sting*

「死よ、お前のとげはどこにあるのか。  
死よ、お前の勝利はどこにあるのか」  
死のとげは罪であり、罪の力は律法です。

#### 45. 合唱 1コリ 15:57

##### *But thanks be to God*

しかし、主イエス・キリストによってわたしたちに  
勝利を賜る神に、感謝しよう。

#### 46. アリア ソプラノ ロマ 8:31,33,34

##### *If God be for us*

もし神がわたしたちの味方であるならば、  
だれがわたしたちに敵対できるでしょう。  
だれが神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。  
人を義としてくださるのは神なのです。  
だれが私たちが罪に定めることができますよう。  
死んだ方、否、むしろ、復活させられた方である  
キリスト・イエスが 神の右に座っていて、  
私たちのために執り成してくださるのです。

#### 47. 合唱 黙示録 5:9,12,13,14

##### *Worthy is the lamb that was slain*

<sup>ほふ</sup>屠られた小羊なる方、キリストは、  
ご自分の血で、神のために人々を贖<sup>あがな</sup>われた、  
この方こそ、力、富、知恵、威力、誉れ、栄光  
そして賛美を受けるにふさわしい方です。  
玉座に座っておられる方と小羊とに、  
賛美、誉れ、栄光、  
そして権力が世々限りなくありますように  
アーメン。

日本語訳は聖書「新共同訳」による  
柴田美代子氏(日本基督教団神戸栄光教会)編

# Profile

指揮

畑 儀文 はた よしふみ



兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。  
1979年大阪にて、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後テノールソリストとして、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団ホルン奏者ペーター・ダム氏との共演、イエルク・デームス氏の伴奏による数多くのリサイタル等で大きな成果をおさめた。1991年オランダ・アムステルダムにおいて、バロック歌手として高名なマックス・ファン・エグモント氏のもとで研鑽を積む。以後オランダ各地において、受難週には、エヴァンゲリストとして招かれ、近年はドイツ・ライブツィヒにおいてバッハ作品のソロを務める。  
また1993年～1999年にかけて、シューベルト歌曲全曲演奏を成し遂げ、国内外で話題を集めた。2017年3月大阪バッハ合唱団オランダ、ドイツツアーでは「マタイ受難曲」の指揮者、エヴァンゲリストとして演奏会を成功に導いた。  
今年初リサイタルから40年を迎え、各地で記念公演を行っている。  
日本コロムビアからCD「日本のうた」「新しい日本のうた」「トスティ歌曲集」「昭和のうた」「美しき水車小屋の娘」、エール株式会社から「こどものころ」「日本のころ」をリリースし、その天性の歌声はジャンルを問わず心に響く感動を呼び、注目を集めている。  
「大阪文化祭本賞」「咲くやこの花賞」「大阪府民劇場賞」「坂井時忠音楽賞」「兵庫県芸術奨励賞」「兵庫県文化賞」等多数の賞を受賞。  
丹波の森国際音楽祭シューベルトティアードたんば音楽監督。  
京都女子大学非常勤講師。

ソプラノ

老田 裕子 おいた ゆうこ



神戸市出身、大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了。  
透明感のあるあたたかい声を活かし、オペラでは「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「フィガロの結婚」「椿姫」「清教徒」「ランスへの旅」「夕鶴」「ロデリンダ」などの主要な役を演唱し好評を博す。また宗教曲のソリストとしても多数活躍している。  
2003年ドイツ・ミュンヘンにて1年間学ぶ。第12回ABC新人コンサート、NHK-FM名曲リサイタルに出演。第73回日本音楽コンクール歌曲部門入選、飯塚音楽新人コンクール第1位、第9回松方ホール音楽賞大賞。リサイタルの成果により平成17年度クリティッククラブ奨励賞受賞、平成19年度神戸市文化奨励賞、第33回神戸・灘ライオンズクラブ音楽賞、平成22年度兵庫県芸術文化奨励賞。マーラー作曲「子供の不思議な角笛」全曲演奏に対して平成24年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞を受賞。  
現在、同志社女子大学、武庫川女子大学非常勤講師。関西二期会、神戸音楽家協会、神戸波の会、日本ドイツリート協会各会員。  
2019年9月15日に神戸市うはらホールにて「コシ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役で出演予定。

メゾ・ソプラノ

## 福嶋 あかね ふくしま あかね



尼崎市生まれ。滋賀県立石山高等学校音楽科卒業。

京都市立芸術大学卒業。同大学大学院首席修了(大学院賞受賞)。

声楽を(故)村地保彦、(故)手島孝、蔵田裕行の諸氏に師事。発声法をK.H.トゥットナー氏に、ドイツ歌曲解釈をC.オッカー、川村英司の両氏に学ぶ。

2000年びわ湖ホールにてヘンデル《メサイア》アルトソロでデビュー。

以後、バッハ《クリスマス・オラトリオ》、モーツァルト《戴冠式ミサ》《レクイエム》、ベートーヴェン《第九》、ロッシニ《小荘厳ミサ》《スターバト・マーテル》、ドヴォルザーク《レクイエム》、デュリュフレ《レクイエム》などのアルトソロを多く務める。

そのほか、これまでに神戸市混声合唱団、ヴォーカルアンサンブル Kyoto (2012年度青山音楽賞受賞) に所属。現在はフリーとして活動。

滋賀県立膳所高等学校合唱部、市民合唱団 コールライゼ、草津カンタービレ、しがぎん経済文化センター (KEIBUN) 第九、三田楽友合唱団、宝塚混声合唱団など、関西各地の合唱団において指揮や指導に携わっている。

滋賀県立石山高等学校音楽科、京都女子大学非常勤講師。

テノール

## 松原 友 まつばら とも



photo:Yoshinobu Fukaya

東京藝術大学卒業。同大学院修了。ロームミュージックファンデーション、野村財団奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。

第14回松方ホール音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞(聴衆賞)、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。

これまでヨーロッパ、日本各地でのリサイタル、オペラ、オラトリオの公演をはじめ、NHKリサイタルノヴァ、ルールトリエンナーレ、トビリシ音楽祭、小澤征爾音楽塾、サイトウキネンフェスティバル、PMF音楽祭に出演。小澤征爾、ウルフ・シルマー、準・メルクル、インゴ・メッツマッハー、ハルトムート・ヘンヒェン、山田和樹他、国際的な指揮者と共演を重ねる。武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、京都市立芸術大学、大阪教育大学、大阪府立夕陽丘高校音楽科各非常勤講師。東京二期会会員。

バス・バリトン

## 篠部 信宏 しのべ のぶひろ



大阪芸術大学大学院修了。

卒業時に学長賞受賞。第1回大阪国際音楽コンクール声楽部門第3位受賞。2009年丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティスト。2005年より毎年渡欧 Max van Egmond 氏に師事。2017年3月オランダ、アルクマールにてバッハ「マタイ受難曲」のイエスを、ドイツ、フライブルクにて同曲のバスアリアを歌いバーディッシュ新聞紙上にて絶賛される。宗教曲のソリストとして日本テレマン協会定期、大阪フィルハーモニー交響楽団いずみホール特別公演、関西フィルハーモニー管弦楽団定期等に出演。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「口短調ミサ」「クリスマスオラトリオ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、フォーレ、ブラームスの各「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」他多数のバスソロを務め好評を博す。現在、シノベムジカアカデミー代表、京都バッハソリスト所属、フィルハーモニーカンマーアンサンブルメンバー、日本テレマン協会ソリスト、京都女子大学非常勤講師。

チェロ

## 上塚 憲一 かみづか けんいち

京都市立芸術大学卒業。チェロを黒沼俊夫、A.ビルスマ、室内楽をG. ボッセ、S. スタンディジの各氏に師事。大阪文化祭奨励賞、灘ライオンズクラブ賞、坂井時忠音楽賞を受賞。大阪音楽大学教授、同大学付属音楽院講師、西宮高等学校音楽科非常勤講師。チェロ・アンサンブル・エクラ、Baroque Ensemble VOC、アンサンブル・ムジカ・アニメ主宰。チェロ・アンサンブル「神戸」音楽監督、西宮音楽協会会員。

バイオリン

## 釋 伸司 しゃくしんじ

京都市立芸術大学卒業。元テレマン室内管弦楽団コンサートマスター。現在は、いずみシンフォニエッタ大阪、マイハート弦楽四重奏団メンバー。京都フィルハーモニー室内合奏団客演コンサートマスター。室内アンサンブル・アッサンブラージュを主宰し、ホール主催公演、学校公演レコーディングなど幅広く活躍している。神戸女学院非常勤講師、岡山フィル首席奏者。アンサンブル・ムジカ・アニメコンサートマスター。

オーケストラ

## アンサンブル・ムジカ・アニメ

2006年上塚憲一を中心に発足したオーケストラで、主に関西で活躍する経験と実力豊かな演奏家を中心に構成される。個々の演奏家のレベルの高さから、時代考証に基づいた正統派の演奏を目指す完成度の高いオーケストラで、バロックから近代の合唱作品での演奏は共演した各方面より高い評価を得ている。宝塚混声合唱団とは、2007年の第19回音楽会以来、共演を努めさせていただいている。

【マルクト広場】(ハレ)

ヘンデルは1685年に中部ドイツのハレで生まれ、マルクト教会(写真左)で洗礼を受けた。



【ヘンデルハウス】(ハレ)

ハレ市内にあるヘンデルの生家で、今は博物館となっている。ヘンデルは1703年(18歳)までここに住んでいた。



【マリエン教会】(リュベック)

教会内部の様子。1703年にヘンデルはマッテゾンと共に、同教会でのブクステフーデの後任オルガニストを目指すべくリュベックに赴くも、娘との結婚が条件と聞いて逃げ帰った。2年後に、バッハも同じ経験をしている。



【ヘレンハウゼン王宮庭園】(ハノーファー)

1710年、25歳のヘンデルはハノーファー選帝侯の宮廷楽長に任命された。しかし2年後にはロンドンに移住。同庭園は17世紀に造られたバロック庭園で、庭園内の劇場では毎年ヘンデルの「水上の音楽」が演奏される。

【ヘンデル&ヘンドリックス博物館】(ロンドン)

ヘンデルはメイフェア地区にある25番地の家(写真中央)に住んだ。左側の建物には伝説のロックギタリスト、ジミ・ヘンドリックスが住んだ。現在、博物館として公開中。



【ヘンデルグッズ】

我が家のヘンデル・グッズです。ハレのヘンデルハウスで購入。



【ヘンデル通り】(ロンドン)

イギリスに帰化したヘンデルは「HANDEL」となった。イギリス人は彼を自らの国民的作曲家ともなして作品を演奏し続けている。写真は孤児養育院のある「ヘンデル通り」。

# ヘンデル写真館

音楽会運営部・大隅 仁

【ヘンデル像】(ハレ)

ヘンデル没後百年を記念して1859年に完成。マルクト広場の一角に立っている。





**【エルブフィアハーモニー】(ハンブルク)**

1703年にヘンデルは作曲家を目指してハンブルクに出た。ハンブルクは当時も今もドイツ音楽先端の地。写真の建物は古い倉庫の上にホールを建設、2017年に完成。



**【ヘンデル&ヘンドリックス博物館】(ロンドン)**

ヘンデルは1723年から亡くなる1759年まで36年をこの家で過ごした。1741年の夏にわずか3週間で作曲された「メサイア」も、ここで作曲された。



**【孤児養育院】(ロンドン)**

「メサイア」は1742年4月にアイルランドのダブリンで初演。その後、生前中に何度も改訂・再演された。ヘンデルは、1750年にロンドンの孤児養育院で慈善演奏会を開き、毎年「メサイア」の上演を通じて孤児養育院への慈善活動に尽くした。



**【タワーブリッジ】(ロンドン)**

ハノーファーに戻る約束を守らず、ヘンデルはそのまま1712年にロンドンに移住。2年後にハノーファー選帝侯がイギリス国王ジョージ1世となるも、新国王とは良好な関係を保ち、1727年にイギリスに帰化した。写真はテムズ川にかかるタワーブリッジ。



**【ウェストミンスター寺院】(ロンドン)**

イギリス王室の戴冠式も行われる華麗なゴシック建築の教会。内部にはヘンデルの墓と記念碑もある。作曲家没後の1784年にヘンデル記念祭がここで開かれ、513人からなる大編成のオーケストラを使って「メサイア」が演奏された。



**【ウェストミンスター寺院内部】(ロンドン)**

ヘンデルは1759年に74歳で亡くなり、ウェストミンスター寺院に埋葬された。教会内部に墓と記念碑がある。記念碑の生年は、何故か1年早い1684年となっている。



**【ヘンデル通り】(ヴォルフスブルク)**

生まれ故郷のドイツでは「A」にはウムラウトがつき、ファーストネームは「George」でなく「Georg」である。ドイツでも作曲者を称え、各地には「ヘンデル通り」がある。写真は、フォルクスワーゲン本社があるヴォルフスブルク市内の「ヘンデル通り」。



**【ヘンデル音楽祭】(ゲッティンゲン)**

ドイツでは、生誕地ハレ以外でも各地でヘンデルの催しがある。写真はドイツ中部ゲッティンゲンでのヘンデル音楽祭。毎年6月頃に開催。